

## 第二章 計画の考え方

## 1. 基本理念

### 区内まるごとキャンパスに

—「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち—

本区には、日本の近世、近代の教育において大きな役割を果たした昌平坂学問所、そして「アカデミー推進計画」の名称の由来でもある19の大学<sup>\*</sup>をはじめとした教育施設・教育機関が数多く集積しています。また、森鷗外や夏目漱石、樋口一葉をはじめとする、近代文学を築いた多くの文人ゆかりの地であり、さらには特別名勝である小石川後樂園や六義園等の庭園、由緒ある寺社や近代建築も点在しています。その一方で本区は、響きの森文京公会堂(文京シビックホール)や生涯学習施設(アカデミー文京等)、文京ふるさと歴史館、森鷗外記念館等の文化・生涯学習施設はもとより、東京23区でも有数となる10箇所の区立図書館、そして文京スポーツセンターや小石川運動場等の7つのスポーツ施設を屋内外に整備しています。

人材の観点からも、大学、事業者、NPO等、様々な場において多くの人たちが活躍しており、さらに、外国人居住者や様々な国から訪れている留学生が多くいることも特徴です。

このように多彩で豊かな文化・歴史・学びに関する資源を有する環境を大切に保存するとともに、区内で暮らし過ごす人たちが、自分や人のため、地域のために有効に活用し、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、交流することを目指します。そして、それら学びと交流を通じ、多様な人たちが互いに触発しながら、「文の京」として築いてきた価値を継承し、さらには新しい価値を創造することで新たな「文の京」を区民等とともに生み出すようなまち—「区内まるごとキャンパスに」—を実現します。

このような考え方から、前計画の基本理念「区内まるごとキャンパスに」を引き継ぎつつ、**副題を『「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち』と改定しました。**

なお、本計画期間中には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。国や東京都、企業においては様々なビジョンが描かれており、本区においても、開催都市の一員として大会に向けた準備や気運醸成に取り組む必要があります。そして、将来の文京区ならびに区民にとって残すべき「レガシー(有益な遺産)」が何かを見極め、蓄積されてきた価値を活かしつつそれを磨き、後世に引き継ぐことが求められています。

今後5年間は、このような東京オリンピック・パラリンピックを含む様々な機会も活かしながら、区内で暮らし、学び、働く人たちが、さらには区外から訪れて過ごすだれもが、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流を楽しみ、交流することを力強く推進し、『区内まるごとキャンパスに—「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち—』を目指します。

## 2. 4つの共通目標:環境・人・つながり・価値

本計画では、アカデミー推進計画のもと、5つの分野を通じて実現する共通目標を設定します。

ひとつは、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、交流するための**環境形成**であり、もうひとつは、その環境を活かす**人づくり**です。さらに、**人と人とのつながり**を生み出し、コミュニティを形成しながら、そこでの交流と学び合いを通じて**価値をともに生み出していくこと(協創)**を目指します。

### 共通目標1 環境形成:充実した時間を過ごせる環境形成

多様な文化・歴史・学びに関する資源を結びつけることや新たな資源を収集すること等を通じて、学びと交流を支える充実した環境をつくります。さらに、その環境を有効活用し、分野を横断した事業を提供するだけでなく、「いつでも・どこでも・だれでも」という観点に立ち、学びや交流の機会に日常的に触れられるようなまちづくりを進めます。

### 共通目標2 人づくり:豊かな暮らしを支える人材育成

学び、交流するための環境形成とともに、それを活用する人々を増やしていくことが大切です。区の多彩な資源の魅力を高めながら、広く発信することでその動機づけを行い、地域での学びや交流の支えになる方々の育成や、さらには交流を通じて、学びを生かした協働へと展開することを目指します。

### 共通目標3 つながりの構築:活動を通じた多様なつながりの構築

個々の区民やNPO等の団体、企業や大学等、様々な主体との連携を図り、学びと交流を支える側のつながりを構築します。そのことにより、関心をともにする人たちや、地域でともに暮らす人たちのつながりを生み出し、さらに学びや交流が展開していくことを目指します。

### 共通目標4 価値の協創:資源を活かした新たな価値の創造

学び・交流・協働を通じて新たな資源を見出すことで、文京区ならではの価値を生み出すことを目指します。人が人を呼び、活動が生まれ、その活動が新たな「文の京」となりうる価値を創造する取組を進め、新しい価値がさらなる学びを生み出し、より広い交流へと展開することで、「住んでみたい、住んでよかった、住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりにつなげていきます。

## 基本理念と4つの共通目標



### 「まち」とは

よりよい生活を送るため、建物や道路といったハードと、歴史・文化等のソフト両面からとらえ、また、地域コミュニティや交流等の意味もこめて「まち」と表記しています。



### 3. 計画の体系

#### 基本理念と共通目標

区内まるごとキャンパスに — 「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち —

#### 環境形成

充実した  
時間を過ごせる  
環境形成

#### 人づくり

豊かな暮らしを  
支える人材育成

#### つながりの構築

活動を通じた  
多様なつながりの  
構築

#### 価値の協創

資源を生かした  
新たな価値の  
創造

#### 5つの分野別目標と 横断的施策

生涯学習

スポーツ

文化芸術

観光

国際交流

○ いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

○ 一人ひとりの学びの成果を生かす機会の提供・充実

○ 学びの継続を通じたまちづくり

○ スポーツを身近に感じる機会の拡充

○ いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進

○ スポーツ活動を支える環境の整備

○ スポーツを通じた仲間づくりと交流

○ だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり

○ 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

○ 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

○ 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

○ 情報の収集・活用による来訪の促進

○ 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

○ 国際理解を育む機会づくり

○ 外国人が快適に過ごせる環境づくり

情報の収集・  
共有・発信

協働する  
人材の育成

東京オリンピック  
・パラリンピック

横断的施策

## 4. 各分野目標と基本的な方向

分野	分野別目標	基本的な方向
1 生涯学習	1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実
		(2) 学習や活動ができる環境の提供
		(3) あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実
		(4) 地域の学習拠点としての図書館づくり
	2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実	(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり
		(2) 活動成果披露の場の充実
		(3) 人材育成・活用の推進
	3. 学びの継続を通じたまちづくり	(1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進
		(2) 地域で支える学習環境の充実
(3) 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進		

分野	分野別目標	基本的な方向
2 スポーツ	1. スポーツを身近に感じる機会の拡充	(1) スポーツの楽しさを知る機会の創出
		(2) スポーツ観戦の場と機会の拡充
		(3) プロスポーツ等団体との連携・協力
	2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進	(1) スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開
		(2) 多様なニーズに対応するプログラムの提供
		(3) スポーツをともに楽しむ意識の醸成
		(4) 障害者スポーツの普及振興
	3. スポーツ活動を支える環境の整備	(1) 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備
		(2) スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化
		(3) スポーツボランティア等の活動支援
		(4) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
	4. スポーツを通じた仲間づくりと交流	(1) スポーツを通じた仲間づくり
		(2) スポーツを通じた交流

分野	分野別目標	基本的な方向
3 文化芸術	1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり	(1) 文化芸術への興味や知識を高める
		(2) だれもが参加しやすい仕組みづくり
		(3) 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり
	2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援	(1) 観賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実
		(2) 文化芸術活動をする人・団体への支援
		(3) 人材の育成と活動支援
	3. 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり	(1) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実
		(2) 「文の京」の伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援
		(3) 文化資源の再発見と保存・活用の推進
(4) 文化資源に関する情報収集・整理と発信		

分野	分野別目標	基本的な方向
4 観光	1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出	(1) 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘
		(2) 「文の京」ならではの魅力の向上と新たなストーリーの展開
		(3) 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり
		(4) 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり
	2. 情報の収集・活用による来訪の促進	(1) 区内外における文京区の観光ニーズの把握
		(2) 文京区の地域ブランド力向上
		(3) 効果的な双方向の観光情報発信
		(4) 活気ある交流の仕組みづくり
	3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり	(1) 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築
		(2) 安全・安心で優しいまちを実現する環境づくりの推進
		(3) 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成

分野	分野別目標	基本的な方向
5 国際交流	1. 国際理解を育む機会づくり	(1) 交流の機会の拡充
		(2) 海外都市との交流の活性化
		(3) 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有
	2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり	(1) 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進
		(2) 外国人の生活・滞在に対する支援

